

# 主な議案 9月 定例会

今回は、平成24年度決算の認定と刈谷市議会基本条例の制定についてなどです。  
 質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

## 決算審査特別委員会 審査のあらまし

本会議での説明後、議員選出の監査委員（中嶋祥元議員）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

さらに、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の4分科会を設置しました。分科会では、監査委員に出席を求め、決算審査特別委員会が要望した資料に加え、審査が行われました。

24日の決算審査特別委員会では、分科会での審査結果を踏まえ、採決を行いました。



代表監査委員による意見陳述

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計については、起立採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定することに決定しました。

そのほかの決算議案については、反対意見はなく原案のとおり認定及び可決しました。

（分科会での主な質疑項目）

- 企画総務関係
  - 市税の滞納繰越分の収納率向上の要因、入札監視委員会の成果と課題
- 福祉経済関係
  - 地域医療連携ネットワークシステムの運用状況、中小企業に対する投資促進への補助実績及び事業継続の考え方、不燃物利用場の使用年数、農用地利用集積奨励金補助の目標値と達成率、配食サービス拡充への考え
- 建設水道関係
  - 刈谷城築城の基本計画及び資金の集め方、市営住宅長寿命化の具体的な整備内容と今後の計画、流用内容、岩ヶ池公園における都市計画変更の内容、サイクリングロード整備による成果
- 文教関係
  - 美術館の各企画展の狙いと入場者の満足度、スポーツリーダー養成講座の目標値の根拠、歴史博物館建設予定地の標高と浸水想定

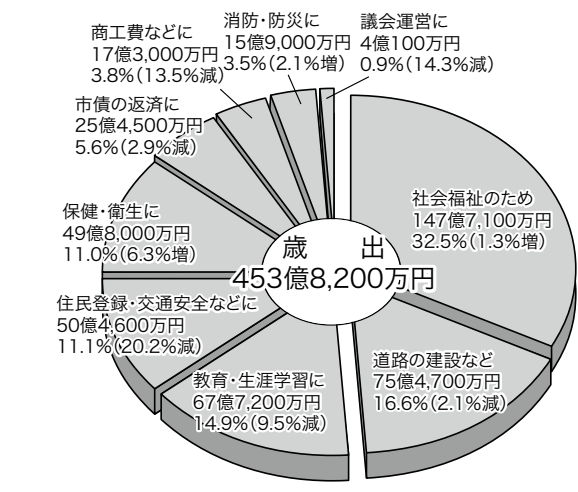
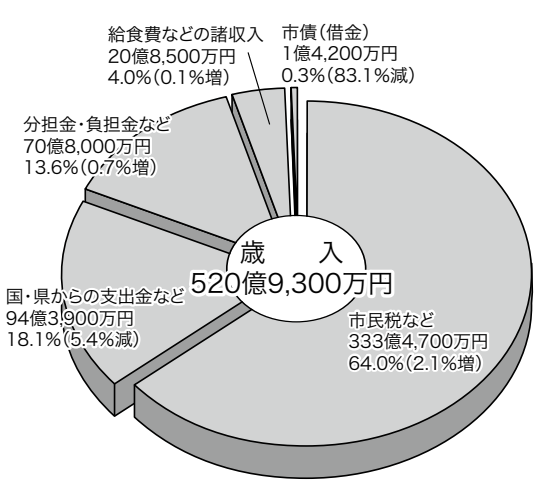
## 各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	520億9,300万円 (▲1.0%)	453億8,200万円 (▲4.3%)	67億1,100万円
特別会計 合計額	251億5,500万円 (+8.3%)	228億200万円 (+6.2%)	23億5,300万円
水道事業 会計	25億9,000万円 (+0.2%)	24億600万円 (▲3.2%)	1億8,400万円
各会計 合計額	798億3,800万円 (+1.8%)	705億9,000万円 (▲1.1%)	

特別会計内訳	歳入	歳出
区画整理事業合計	6億3,600万円	3億8,100万円
下水道事業	52億4,500万円	44億4,000万円
国民健康保険	121億9,200万円	109億9,400万円
後期高齢者医療	12億3,800万円	12億2,000万円
介護保険	58億4,400万円	57億6,700万円

## 一般会計の内訳

(前決算年度対比)



（国・県からの支出金などの内訳）  
 国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金  
 （分担金、負担金などの内訳）分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

（農工商業費その他の内訳）  
 農林水産業費、労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費  
 （注）それぞれの数字は四捨五入してそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

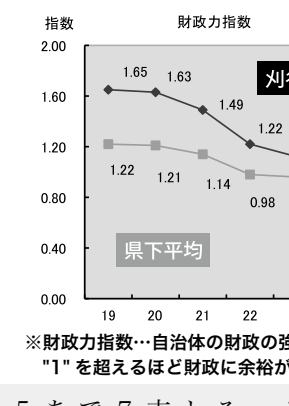
## 監査委員の意見（要旨）

伊藤嘉彦 山内智彦

Ⅱ一般会計・特別会計Ⅱ  
 平成24年度の決算状況は財政分析指標面からも良好なもの判断された。今後の財政状況は、歳入において、自動車関連産業の業績の持ち直しにより、市税収入は回復傾向が見られるが、一方で、自動車産業のグローバル化、消費税の増税による景気動向等さまざまな懸念材料もあり、楽観視することはできない。このように歳入の見通しがなお不透明な中、歳出においては、社会保障関連経費、老朽化した公共施設の維持・保全に要する経費は増加することが見込まれ、難しい財政運営が続くことが予想される。事業の予算化・実施にあたっては、調査・見積りがより高い正確性と必要性を十分検討し、計画的な実施が求められる。

平成25年は刈谷城が築城されて480年、「維新の魁」といわれた天誅組の義挙から150年となる節目の年で、さまざまな記念事業が実施、計画されている。郷土の歴史を再認識することにより、市民の郷土愛が育まれ、未来への希望と夢が紡がれることを期待するものである。

財政状況を財政分析指標で見ると、財政力指数は0.04ポイント低下し、08ポイント、経常収支比率は0.1ポイント上昇し、77.7%となったが、その変動は僅かであり、引き続き良好な水準にある。公債費比率は3.0%と0.5ポイント低下していることから、良好な水準にある。



※財政力指数…自治体の財政の強弱を測る方法  
 "1"を超えるほど財政に余裕がある

## Ⅱ水道会計Ⅱ

本年度の純利益は1億5,950万1千円となり、これまでの企業の営業活動によって獲得した利益の蓄積を示す利益剰余金は12億8,053万円となっている。しかし、平成25年度以降は、平成24年の純利益の増加要因となった減価償却費について、大型の設備更新事業が完成したことにより増加することが見込まれ、純利益は大きく減少することが予測される。さらなる合理化による効率的な給水に努めることが求められる。

貸借対照表から主要な経営指標をみると、構成比率のうち財務状態の安全性を示す自己資本構成比率は91.7%、流動負債のうち未払金が前年度と比較して減少したことにより、1.6ポイント増加した。また、他機関からの資本依存度を示す固定負債構成比率は5.4%で、新たに企業債の起債が行われなかったため企業債残高が前年度と比較して減少したことにより、0.5ポイント減少した。この2つの指標は、良好に推移しており、経営の安全性が高いことを示している。

発生が懸念される南海トラフの巨大地震に対応し、ライフラインを確保するため、特に、人命に関わる重要施設への安定化に係る対策等を進める必要がある。基幹管路について耐震性に優れたダクタイル鉄管への布設管事業を計画的・積極的に進めるとともに、老朽化した施設の大規模な更新事業を視野に入れた計画的な財政運営を、努め、将来にわたる、「安心」で「良質」な水道水の安定供給が行われるよう、安定した健全な経営を推進するよう期待する。

## 平成24年度に取り組んだ主な事業

### 都市環境分野……

- 都市と自然が織りなす住みよいまちづくり**
- 防犯灯を、寿命の長いLEDへ取替えることにより、電気料と修繕料を削減 879万円
  - 亀城公園の魅力向上のため、歴史的建造物基本計画を策定したほか、老朽化の激しい施設の更新や桜の土壌改良などを実施 8,781万円
  - 平成25年度中の完成に向け、災害時に様々な復旧支援活動が行える広場として、旧市民会館跡地にセントラルパークを整備 6,435万円
  - 逢妻川河川敷を利用し、総合運動公園と亀城公園を結ぶサイクリングロードを整備 3,066万円
  - 名鉄富士松駅利用者の安全確保のため、踏切の拡幅及び歩道を設置 1億2,868万円
  - 再生可能エネルギーの導入やその電力を活用した充電ステーション設置のため、導入調査を実施 481万円

### 教育文化分野……

- 生きる力を育み生きる喜びを実感できるまちづくり**
- 議会の歴史を周知するため、既存の議会史第1編をデータ化してホームページに掲載 81万円
  - 悩みを気軽に相談できる総合的な窓口として、子ども相談センターを整備 1億1,681万円
  - 衣浦小学校、富士松小学校及び刈谷南中学校の大規模な改造や増築を実施 3億3,146万円
  - 刈谷偉人伝として、書誌学者森銃三、童話作家森三郎兄弟を紹介・顕彰するDVDを作成 670万円
  - 「非常口サイン」をデザインした刈谷市出身のグラフィックデザイナー、太田幸夫展を開催 461万円
  - 歴史博物館建設のため、ポーリング調査及び地盤解析などを実施 378万円

### 計画推進分野……

- 市民と行政の信頼と協働で楽しくまちづくり**
- 世代、団体及び国籍を超えた市民交流の促進を図るため開設した、市民ボランティア活動センター、国際プラザ、社会教育センターからなる市民交流センターを管理・運営 7,060万円
  - 幅広い市政情報を誰もが取得できるようにするため、市のホームページをリニューアル 2,150万円
  - 建替や大規模な修繕を迎える公共施設の増加が見込まれる中、適切な維持保全のため、公共施設維持保全計画を策定 847万円
  - 公共施設の改修、建替等のため、基金を設置 2億円
  - 公共工事の入札等の透明性確保のため、第3者による入札監視委員会を設置 693万円

### 産業振興分野……

- 人と技術で賑わいを創り笑顔で働き続けられるまちづくり**
- 中小企業の安定した経営管理のため、雇用安定、技術開発、防災対策支援、円滑な融資など、全6事業を実施し支援 9,960万円
  - 見本市等のブースを借上げ、刈谷市をPRするとともに、市内事業者に出展機会を創出 403万円
  - 農地の利用集積を進め、経営規模拡大による農業経営の安定化を推進 1,311万円
  - 刈谷市と衣浦定住自立圏域市町（知立・高浜・東浦）の観光情報発信拠点充実のため、刈谷ハイウェイオアシスのオアシス館を改修 3,177万円

### 福祉安全分野……

- 支えあひみんなが元気で安心して暮らせるまちづくり**
- 障害者支援センターを新設し、障害のある人の自立した生活を支援 5,706万円
  - 刈谷豊田総合病院の健診棟の改修等を支援 2億6,520万円
  - かかりつけ医の定着を図るため、刈谷豊田総合病院と衣浦定住自立圏域内の診療所等をオンラインで結び、診療情報等を共有化 4,782万円
  - 子育て中の母親の孤立を防ぐため、子育て相談や育児・家事を行うサポーターが家庭を訪問 59万円
  - 認可外保育所へ通う児童の保護者の負担軽減のため、保育料の一部を補助 1,301万円
  - 南海トラフ巨大地震を想定し、既存の地震ハザードマップを更新 894万円
  - 災害発生時に緊急情報を瞬時に伝達するため、同報系防災行政無線（屋外拡声子局10箇所）を設置し、公共施設をJアラートへ接続 9,835万円
  - 「自助」「互助」の精神を地域へ広め、災害時等に地域で自主的な防災活動が広がる人材育成のため、防災リーダー養成講座を開催 22万円



市民の健康増進のためのサイクリングロードを整備



ネットワークシステムを構築し、病院と診療所の連携を推進

## 水道事業のあらまし

項目	24年度	対前年度比較	
		増減数	増減率
総人口	146,690人	720人	0.5%
給水人口	146,465人	720人	0.5%
普及率	99.8%	0.0%	—
給水戸数	61,366戸	1,133戸	1.9%
配水量	18,905,681㎡	165,755㎡	0.9%
市水配水量	4,684,561㎡	▲80,254㎡	▲1.7%
県水配水量	14,221,120㎡	246,009㎡	1.8%
県水依存率	75.2%	0.6%	—
有収水量率	94.0%	▲0.7%	—
1人当たり平均給水量	332ℓ/日	▲1ℓ/日	▲0.3%
1㎡当たり給水収益	133.59円	0.27円	0.2%
1㎡当たり給水費用	129.30円	▲5.38円	▲4.0%

## 議決結果一覧表

議案内容	議決結果
【平成24年度決算関係・9議案】 一般会計歳入歳出決算認定について（認定第1号） 刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第2号） 刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第3号） 下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第4号） 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定第5号） 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（認定第6号） 介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（認定第7号） 刈谷市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 水道事業会計決算認定について（認定第8号）	すべて認定及び可決
【平成25年度補正予算関係・4議案】 一般会計補正予算（第2号） 下水道事業特別会計補正予算（第1号） 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 介護保険特別会計補正予算（第1号）	すべて可決
【請願 1件】 原発をなくし、自然エネルギーへの転換を求める請願	不採択
【議長発議 1件】 議員の派遣について	決定
【委員会報告 1件】 議会基本条例検討特別委員会の報告について	了承
【議員提出議案 2件】 刈谷市議会基本条例の制定について 定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	すべて可決